

篠養だより



「夢と希望を抱き 心豊かに たくましく生きる子の育成 ～ 明るく いきいきと ～」
 ◇丹波篠山市立篠山養護学校 ◇丹波篠山市沢田120-1 ◇tel 552-5237 ◇fax 552-6222
 幼稚部0名 小学部21名 中学部12名 高等部14名 計47名 早期発達支援室2名 総計49名 No.13

精神の儀式～6名の皆さん！卒業おめでとうございます！～

栄えある6名の皆さん、改めて卒業おめでとうございます。いよいよ学び舎を巣立つときがやってきましたね。

卒業証書を手にした今、心の中に何を思い描いているでしょう。皆さんにとって、この篠養高等部での3年間はどんな時間だったでしょう。

楽しかった日、哀しかった日、悔しかった日、嬉しかった日、辛かった日、……。そんなありきたりの言葉では言い表せないような日もあったでしょう。心の苛立ちを抑えられず、友だちや先生、お家の方を困らせたこともあったでしょう。

でも、入学から3年間、同じ場所で、同じ時間を共に過ごす。そんな当たり前の日常を重ねることで、皆さんはお互いの気持ちを理解できるようになり、お互いの良さを認め許し合える関係にまで成長しました。

お互いの良さを理解し、認め許し合える・・・何て素晴らしく尊いことでしょう。それは、一朝一夕にできることではありません。皆さんは、その関係を、篠養に通い続けることで、篠養に通続けてきたからこそ、築いてこれたのです。

今日堂々と式場に立っていられたのも、友だちや先生、お家の方との信頼関係があったからです。

繋がっているからこそ、緊張も吹き飛ばせたのです。「巣立ちのことば」の一節一節からも、皆さんの逞しさ、3年間の成長が感じられ、誇らしくも嬉しくもありました。

式辞の中でも話をしましたが、こんな節目の時だからこそ、一度立ち止まって、考えてほしいことがあります。それは、今日の卒業の日を迎えるまでに、一体どれだけの方にお世話になったか、ということです。家族、親戚、友だち、先生、地域の方、・・・ざっと挙げただけでも、数えきれないほど多くの方に支えられ、今日の日を迎えています。その支えてくださった方々を思い浮かべ、じっくりと考えてほしいのです。その方々のお陰で、今の自分が存在しているということ。

人は決して一人で生きていくことはできません。誰かを頼り、また誰かに頼られながら、持ちつ持たれつ生きていくのです。いつまでも『感謝の心』を忘れず、ぜひ、社会で、地域で、必要とされる人になってください。

さあ、いよいよ明日から“1up! なりたい自分になるため”の冒険の旅が始まります。わくわく、ドキドキ、ちょっぴり不安もあるかもしれませんが、でも、どんな困難に出会っても、あせらず、自分のペースで、一休みしたっていい。一步一步前へ進んでください。

最後に、これまで“ささよう”を支えてきてくれてありがとう。皆さんに、感謝、感謝です。

卒業制作の木製ベンチ ～大切にに使わせてもらいます！～

この前の全校集会で紹介がありましたが、卒業生の皆さんが、卒業にあたり、立派な木製ベンチ（右写真）を制作してくれました。

私も座らせてもらいましたが、木の薫りがして心も落ち着き、座り心地は最高でした。また、中庭など校内に設置して、大切にに使わせてもらいます。そして、ベンチに座る度に、卒業生の皆さんの顔を思い出します。

また機会があれば、いつでも後輩たちが使っているところを見に来てください。



【高等部3年生の教室（卒業式当日）】



【卒業制作の木製ベンチ】